

柔道整復科

臨床実習 3

対象	3 年次	開講期	通年	区分	必※	種別	実技	時間数	45	単位	1
担当教員	有山敦士、小西裕司、青木伊之、宮本功三、後藤晃弘、杉本知			実務経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)				

授業概要

指導柔道整復師のもとで、接骨院における施術の流れを実習します。

到達目標

医療人として必要な接遇を中心とした誘導、評価測定法を身につけそれを有効に利用し、患者に説明が出来ることを目標とする。また、共通症例では外傷のとらえ方を理解し他の疾患にも応用できるようにするだけでなく具体的な治療方法を学び実践できるようにする。

授業方法

1・2年次の知識を生かし円滑に接骨院業務を行えるようにする。共通症例を用いての授業は、観察力と推理力を働かせ経験したことのない外傷も対応出来るように熟考する。また、具体的な整復方法を学生間で実践するのでその際の苦痛なども理解し実際の治療に役立てる。

成績評価方法

課題等を総合的に評価する。

履修上の注意

1・2年次までの知識を総合的に使用する内容である。これまで学んだことを良く理解しないと討論に参加できないので資料等の見直しが重要となる。また、実際に外傷を想定した実技を実施するのでその心構えを持って参加してほしい。各外傷の特性の理解と、座学・実技で会得した知識・技術を反復しておくことが望まれる。

教科書教材

柔道整復学理論編解剖学適宜レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	概要説明
第2回	物理療法器械説明および実務補助①
第3回	物理療法器械説明および実務補助②

第4回	物理療法器械説明および実務補助③
第5回	外傷のとらえ方および実務補助①
第6回	外傷のとらえ方および実務補助②
第7回	外傷のとらえ方および実務補助③
第8回	外傷のとらえ方および実務補助④
第9回	外傷のとらえ方および実務補助⑤
第10回	予診の取り方および実務補助①
第11回	予診の取り方および実務補助②
第12回	予診の取り方および実務補助③
第13回	予診の取り方および実務補助④
第14回	予診の取り方および実務補助⑤
第15回	物理療法体験および実務補助①

第16回	物理療法体験および実務補助②
第17回	物理療法体験および実務補助③
第18回	接骨院業務の実際①
第19回	接骨院業務の実際②
第20回	接骨院業務の実際③